

教 科	工 業	科 目	ソフトウェア技術	単位数	2 単位（選択）
学 科	情報技術科	学 年	3 学年		
学習目標	コンピュータを運用し、活用するために必要となるソフトウェア、オペレーティングシステムやセキュリティに関する知識と技術を習得させ、実際に活用させる能力と態度を培う。				
	学習項目		評価規準【評価の観点】		
	1 章 ソフトウェアの基礎 1 ソフトウェアの重要性 2 ソフトウェアの分類 3 コンピュータシステムの処理形態  2 章 オペレーティングシステム 1 OS の概要 2 OS の機能  3 章 ソフトウェアの管理 1 インストールと環境整備 2 小規模ネットワークの編成 3 セキュリティ管理 4 障害管理  4 章 情報セキュリティ 1 情報セキュリティの基礎 2 情報セキュリティ技術 3 情報に関する法規  5 章 ソフトウェアパッケージ 1 ソフトウェアパッケージ 2 アプリケーションパッケージ 3 情報の収集と活用		・ソフトウェアの種類や分類、目的や働きについて理解している。【A・B】 ・ソフトウェアの分類とそれらの特徴を理解している。【A・D】 ・コンピュータにおけるソフトウェアとハードウェアの役割を認識し、コンピュータシステムの処理形態の違いについて理解している。 【A・B】 ・OS の働きおよび目的やその構成を理解している。【A・B・D】 ・OS の中核である制御プログラムの働きについて理解している。【A・B】 ・OS のインストール方法をはじめコンピュータシステムを構築するための基本的な知識をもち安全に運用していくうえで必要な知識を身に付けようとする。【A・B・C・D】 ・セキュリティ管理を含めた、コンピュータシステムを運用していくうえで必要な知識を身に付け、どのように安全管理をすればよいかを理解している。【C・D】 ・情報セキュリティに関する基本的な知識をもち、セキュリティの必要性と構築方法を理解している。【A・B】 ・暗号化技術などセキュリティに関する技術の内容を理解し、実際にどのように利用されているかを理解している。【B・C】 ・情報に関する法律や規格について、なぜそのような法律が必要か理解している。【B・D】 ・用途や使用形態によるソフトウェアパッケージの種類を理解している。【A・B】 ・アプリケーションパッケージの分類を知っており、基本的なアプリケーションパッケージのインストールと操作方法を理解している。 【C・D】 ・効率のよい情報収集の方法と、それらを整理・処理・加工・編集して、他人に発信する方法を理解し、実際に行うことができる。 【B・D】		
評価の観点	【A】 関心・意欲・態度 【B】 思考・判断・表現 【C】 技能 【D】 知識・理解				
評価方法	定期考査、小テスト、出席状況、課題、授業態度・意欲による総合評価				
教科書等	ソフトウェア技術（実教出版）				
備 考	ソフトウェア技術は選択科目であり、就職者対象に実施する。				

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。